


のじりこ ふようみずうみ
野尻湖(芙蓉湖)

所在地	長野県上水内郡信濃町	種類	湖
			
概要			
<p>上信越国立公園内に位置する野尻湖は、岬の形が非常に複雑で、湖の形が芙蓉の葉に似ていることから別名芙蓉湖とも呼ばれています。湖畔周囲の山々は広葉樹が多いため、秋の紅葉シーズンはとてもすばらしく心がなごみます。野尻湖は、斑尾山の噴火で出来た谷を、黒姫山の噴火による泥流がせき止めた天然湖沼です。流入は、伝九郎用水、古海川用水と小河川であり、湖底は主に泥と砂から形成されています。</p>			
水質・水量			
<p>野尻湖の水質はここ数年、CODが1.5～1.8mg/lと、ほぼ横ばいで推移しています。流出量は年平均3613万m³で、貯水量は9570万m³です。これは長野県内最大の貯水量を誇ります。</p>			
周辺環境			
<p>野尻湖の流域面積は12.9km²で、鳥居川や関川からも流入しているため、間接的には信濃町、長野市北部と妙高市の一部に降水した水が集まることになります。この地域は、豪雪地域であり特有の生物相が分布します。</p>			
利用状況			
<p>野尻湖の水は、信濃町や新潟県で灌漑用水や発電に利用されており、中でも県境を流れる関川を下った水は、古くから新潟県の高田平野を潤しています。また、平成17年までは、長野市の飲料水としても利用されていました。</p>			

水環境保全活動（150文字以内）

地域住民やイベント参加者によるごみ拾いが、毎年4月から6月に行われ、7月には、町内の小学4年生を対象として、水辺環境の学習会を湖上で行う野尻湖クリーンラリーが実施されています。また、有志を中心に、幻の藻類ホシツリモの水草帯を復元する作業が行われています。

故事来歴（150文字以内）

昭和23年、湖岸からナウマンゾウの臼歯が発見されて以来、全国からメンバーが参加して、野尻湖発掘調査団による湖底の発掘調査が行われています。ナウマンゾウやオオツノジカなど氷河時代を代表する化石と、それらを狩猟していたと思われる旧石器人類の遺物が見つかり、現在も発掘が進められています。

アクセス

JR信越本線「黒姫駅」下車 野尻湖行きバス12分
上信越自動車道 信濃町IC 5分

<マップ>



お問い合わせ

信濃町 住民福祉課 環境係

〒389-1392 長野県上水内郡信濃町大字柏原428-2

TEL : 026-255-3111 E-mail : kankyou@town.shinanomachi.nagano.jp